

ナバリスト 26

名谷 快子 さん

なばり 隠 夏見ひめぼたるプロジェクト 代表

ひめみこの舞
みんなよく
頑張った！



なや よいこ ●京都府出身。自然いっぱいの名張は子育てに最適だと直感し、37年前に移住。夏見廃寺の魅力を発信しようと活動している「隠夏見ひめぼたるプロジェクト」の代表で、生粋の大来皇女ファンでもある。今年の「ひめみこ春まつり」で脚光を浴びた、子どもたちによる「ひめみこの舞」披露に尽力。



舞の指導は録音や録画を一切しない「口伝」で行われた



ひめみこ春まつりでは、大来皇女への思いと仲間への感謝を述べた



「舞を披露してみんなが笑顔になってくれたのが嬉しかった」とひめぼたるたち

おおくのひめみこ 大来皇女のように、かっこよく！

私が大好きな大来皇女おおくのひめみことの出会いは、学生の頃に読んだ歴史の漫画や本。歴史上の人物としてではなく、「この人がどういう人生を歩んだのか」に深く興味を持ちました。戦乱に巻き込まれ、国を背負って未知の場所（伊勢）へ行くなんて、一人の女性としてもすごく不安だったんじゃないかな。恋や自由を楽しむ年頃に、伊勢神宮の齋王としての務めを果たした彼女の生き方は、かっこいいと思います。

市民団体が上演する大来皇女の演劇を観に行くなど、名張に住んでから、さらに大来皇女愛が高まっていきました。こうした中、名張に大来皇女ゆかりの地・夏見廃寺があることを、多くの人に知ってほしい！と「隠夏見ひめぼたるプロジェクト」を立ち上げました。この活動も今年で3年目。一緒に楽しんでくれる仲間たちのおかげで活動を続けられています。

ひめみこの舞は、単なるパフォーマンスではありません。子どもたちが舞うのは、伊勢神宮で長年雅楽に携わってきた先生に創作・指導いただいたオリジナルの舞。文化の第一線で活躍してきた先生から直接教わることで、子どもたちに本物の文化に触れ、感じてほしい。「やりたーい！」という思いで集まった子どもたちが、日本古来の伝統を大切に、この舞を未来の名張に残していくてくれたらすてきななって。

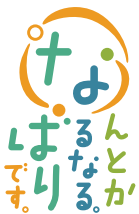
子どもたちには、私の大好きな大来皇女のように、やると決めたことを貫く、かっこいい人になってほしいです。

編集後記

本紙で名張の魅力を継続して掲載する中、「まちをお勧めしたい人」が24%↓53%、「まちをよくする活動に参加したい人」が24%↓51%と倍増（R7 広報eモニター調査）。「まちへの熱量」がものすごく上がったことに驚きました。今後も引き続き「ご愛読ください！」（たか）

「家族だからこそ話せないこともある。近所の知り合いくらいに思っただけで気軽に話して」と山崎さんと八木さん（P14）。つらくても、見守ってくれている人がいると思えるだけで心は軽くなるもの。地域の人たちの温かさを感じました（くま）

「門の外から見る夏見廃寺が好き」と語るのは、AR復元を手掛ける桑山さん。当時の平民は敷地内に入れず、門の外から眺めるのが精いっぱいだったそう。立派な建物があった時代を生きた普通の人たちに思いを馳せ、跡地を見つめる桑山さんの姿が印象的でした（はな）



名張のひと・活動

